

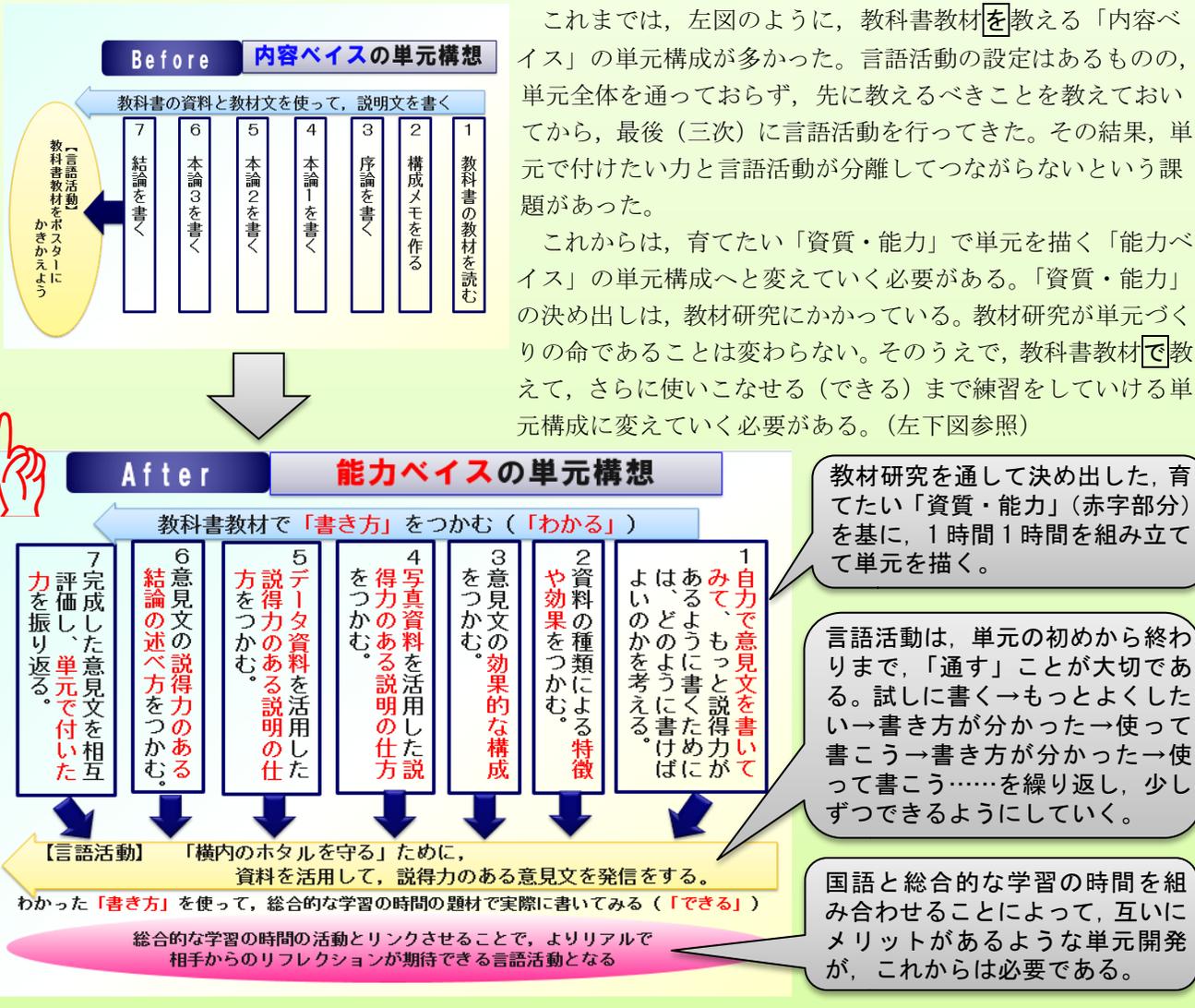
高知の未来の授業を創る推進プロジェクトにおける「国語科授業づくり講座」が、本年度よりスタートしています。本講座は、来年度から全面実施される小学校学習指導要領の趣旨理解や改訂のポイントに沿った具体的な授業づくりについて、移行期間最終年度である本年度中に理解を深め準備を整えながら、日々の授業改善に役立てようというものです。「国語科授業づくり講座」は、県下5校(横内小学校・蓮池小学校・宿毛小学校・大方中学校・鏡野中学校)において、合計20回開催されます。

育てたい「資質・能力」で単元を描く

第5学年 単元名：光れ 飛べ 横内のホテル ～地域の人に発信しよう～
教材名：「資料を生かして考えたことを書こう」(東京書籍5年)

【本単元で付けたい力】写真や図表・グラフ等の資料から情報を読み取り、目的や意図に応じて資料を関係付けて活用し、自分の考えが伝わるように説得力のある提案文を書くことができる。
【設定した言語活動】保護者や地域の人に、「横内のホテルを守る」ための提案文を発信する活動。

「内容ベース」<Before> から 「能力ベース」<After>の単元づくりへ



公開授業の案内や申し込み・レポートは、高知市教育委員会 学校教育課のHPをご参照ください。他のレポートも多数掲載!



発行 令和元年10月18日(金)
高知市教育委員会
学校教育課 学力向上推進室

高知市では、横内小学校が拠点校となり、4回の提案を行います。提案は、「教材研究会」と「授業研究会」がセットになっており、一つの教材を通して、「教材研究の仕方」から「授業づくりのプロセス」、実際の「授業の指導の工夫」や「授業コントロールの技」等を、提案者と参加者が一緒になって学び合うことができる仕組みになっています。今回は、横内小学校での第3回目の提案となる「教材研究会」の様子を紹介します。

参会者の感想

- 育てたい「資質・能力」を起点にした授業づくりについて、考えを深めることができました。その際、学習指導要領を基に教材研究を行うことの大切さを改めて感じた。
- 「育てたい資質・能力の決め出し」や「言葉による見方・考え方」を「可視化する教材研究の仕方」を学ぶことができました。これからの教材研究に生かしていきたい。
- 教材研究会で、参加している先生方が協議し、発表し、課題が焦点化できる場が準備されており、教材研究会そのものが「主体的・対話的で深い学び」になっていた。本校や地域の研究会で、本研究会の運営の在り方を見習いたいと思った。

授業者の振り返り

これまでとは全く発想が違う単元のつくり方に挑戦している。「育てたい資質・能力」や「働かせたい見方・考え方」を明確にするには、系統や教材分析を指導事項と結び付けることが重要だと学んでいる。

次は、子どもの姿を通して授業提案したい。
横内小学校 島崎 雄 教諭

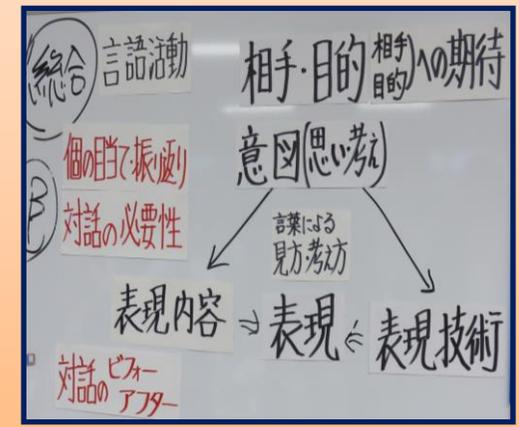


横内小学校の提案に対する講師の指導・助言

- 単元の構想について**
 - 総合的な学習の時間と関連させて単元を組むことによって、相手・目的意識が明確になるので、意図(思いや考え)が生まれる。「書くこと」や「話すこと・聞くこと」領域の表現する活動に効果的である。
- 「わかる」から「できる」について**
 - 教科書教材で書き方を理解し(「わかる」)、応用教材で理解したことを使って現実の言語活動の中で書いてみる(「できる」)ことを繰り返し行うことは効果的である。学んだことを繰り返し使わせることによって、世の中で通用する能力を育てていくことが大切である。
- 言語活動について**
 - ★「意見文」と「提案文」では文種やねらいが違うので、よく精査すること。言語活動は、現実的に考えて実現可能なこと、相手からのリフレクションが期待できるかなどを考えて設定しなければならない。



講師：松永 立志 先生
(前鎌倉女子大学 准教授)



第3回
「国語科授業づくり講座」
《教材研究会》の様子

高知市の本年度の「国語科授業づくり講座」は、次回(4回目)が最終回! 高知の「学び場」へ集まれ!

今後の予定

【次回の国語科授業づくり講座】
○第4回 10月30日(水)【授業研究会】
☆今回教材研究した単元について、授業を通して検証し、授業づくりのポイントに迫ります。